

音楽堂は定禅寺通が最適 仙台経済同友会が仙台市長に提言



仙台経済同友会（大山健太郎代表幹事）は2020年12月22日、仙台市の郡和子市長にまちづくり提言書を手渡した。

この中で、音楽ホールの建設立地は、県民会館を中心とした定禅寺通の活用が街の回遊性の観点から最も望ましいとした。青葉山交流広場への立地が有力視されている音楽ホールの立地

は、公演会後の交通利便性の悪さなども指摘した。

大山会長は提言後、同会員の三菱地所や三井不動産など大手デベロッパーや鹿島建設、竹中工務店の大手ゼネコンなどの専門家も交えながら、官民一体でランドデザインを作成、21年3月までには、より具体的な提言をしていきたいと語った。